

## 人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／9月21日(木) 13:00~16:00
- 場所／城山出張所 出張所横会議室

## 電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570 - 003 - 110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

# 人権だより

総務課 (吉備庁舎)

電話 22-3291

ファクス 52-3210

## 十人十色

人はそれぞれ容姿も違って性格も異なります。その上、考え方も多種多様で時には論争になることさえあります。自己主張が先立って自分の利益のみを求めてしまうのです。それが動物的な本能かもしれません。

しかし、それでは人とは言えません。人は理性をもつて、相手の立場に立って考え行動します。それが本当の人間社会だと思えます。誰もが他人の立場になって考え、行動すれば理想的な社会ができることでしょう。

ある国では、領土を欲しいがため、相手の国に有無を言わずに侵襲して戦争を引き起こしています。私たちはこの痛ましい出来事をテレビや新聞で見ることができません。これは大きな人権被害です。こういう大きなことになるとうるさくも無くなってしまうでしょう。人の権利を無視した行動で多くの人が嘆き苦しんでいます。どうすることもできずただ、はらはらしながら映像を見ることができません。どうか早く平和な人権を取り戻した国に復帰することを願わずにはいられません。

さて話題が一変しますが、先日の人権映画会「さかなのこ」は魚が大好きな少年が成長していく物語でした。少年の母親の言葉に、私は共感しました。三者面談での先生からの「もっと勉強しないと進学できません」という言葉に、母親が「この子はこれでいいんです」ときっぱり言い切ったのです。常に魚のことばかりで、他の子どもとは少し違うことを心配する周囲の中で、母親だけはこの少年を認めているのですから、心の広いお母さんだなと感じました。

やはり一人の人権を重視した言葉でした。人はそれぞれ違って当然です。どこでどう認め合うかが大切なことです。人権こそ私たちが暮らしていきける第一歩だと感じます。

人権機関有田川 副会長 白藤勝俊



6月25日(日)人権映画会「さかなのこ」会場の様子

## 国際平和デー

9月21日は国連が定めた平和の記念日です。全ての国、全ての人々にとって共通の理想である国際平和を記念、推進していく日として、すべての国連加盟国、国連機関、地域組織やNGO、そして個人に対して、この日を適切な方法で祝うよう呼びかけています。

国連が「国際平和デー」を最初に宣言したのは昭和56年(1981年)です。「国際平和デー」は毎年9月の国連総会開会日に制定され、開会式では各国代表がこの日を記念して1分間の黙禱(もくごう)を行うことが慣例となっていました。平成14年(2002年)からは、毎年9月21日を「国際平和デー」に定め、世界の停戦と非暴力の日として、全ての国と人々に、この日一日は敵対行為を停止するよう働きかけています。

